エコアクション21
環境活動レポート

令和 5 年度

（令和 5年 6 月 ～令和 6 年 5 月）

株式会社 山川電気

令和 6 年 10 月 1 日作成

株式会社　山川電気　環境レポート

目　　次

1. 環境方針 ―― 1

2. 組織の概要 ―― 2

3. 実施体制 ―― 3

4. 環境方針・環境目標及び環境活動計画を達成するために必要な取り組み ―― 4

5. 環境活動計画 ―― 5

6. 環境実績 ―― 6

7. 環境目標 ―― 7

8. 環境教育、訓練の実施 ―― 8

9. 緊急事態の想定と対策 ―― 9

10. 環境関連法規等の遵守状況のチェック結果 ―― 10

11. 代表者による全体の評価と見直し ―― 11

環境方針

株式会社　山川電気

代表取締役　山川光雄

制定日　令和 3 年 6 月 1 日

環境理念

株式会社山川電気は60年の経験と豊富な技術をもって沖縄本島及び各離島の電気工事業務を主としてまいりました。

どんな時代（トキ）でも高い『志』を持ち、何事にも前向きに怯むことなく、社員一人々々の質の向上で良い仕事・価値のある仕事・喜ばれる仕事をして、社会への奉仕に努める。

という『志』を社訓として挙げ、常に努力と奉仕の精神で今日の基盤を築き、これからも電気工事業務一筋に邁進して参ります。

今日における建築産業はIT技術を駆使した時代へと進み、また地球環境保全のためのECO技術がより重要視されてきました。

弊社は今日までの実績を基盤に環境保全にも力を入れることで「より質の良い、より価値のある、より喜ばれる仕事」を提供するため、環境保全を弊社の重要課題の一つとして位置づけ、地球環境への負荷低減を事業活動に取り入れ、環境保全に配慮したより良い環境づくりに貢献いたします。

環境活動指針

事業内容を実施することにより社員一丸となって

・エコドライブ、消費電力の削減等による二酸化炭素の排出量削減

・水使用量の削減

・産業廃棄物排出量の削減

・一般ごみ排出量の削減

・グリーン購入の推進

・当社事業に関連する環境関連法規の遵守

等を重点事項とし、毎年度ごとに環境目標の設定・見直しを行い、すべての従業員に周知し、積極的にエコアクション21に基づいた継続的改善と環境保全に取り組んでまいります。

組織の概要

1.　事業者及び代表者

株式会社　山川電気

代表取締役　山川 光雄

2.　所在地

本社：〒902-0078　那覇市識名2丁目15-15（101号）

豊見城支店：〒901-0203　豊見城市字長堂350番地の1

3.　環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者：山川 光雄

担当：名嘉　義継

ＴＥＬ：098-856-1278

ＦＡＸ：098-856-1200

4.　対象範囲（対象組織）

豊見城支店の全組織、全活動とする

那覇本社は2026年度を目標に体制を整え、早急に取り組みを始める

5.　事業内容（対象活動）

電気工事業、電気通信工事業、消防施設工事業、管工事業、水道施設工事業、
土木工事業、建築工事業、電気器具販売業、ボイラー等の販売及び据え付け

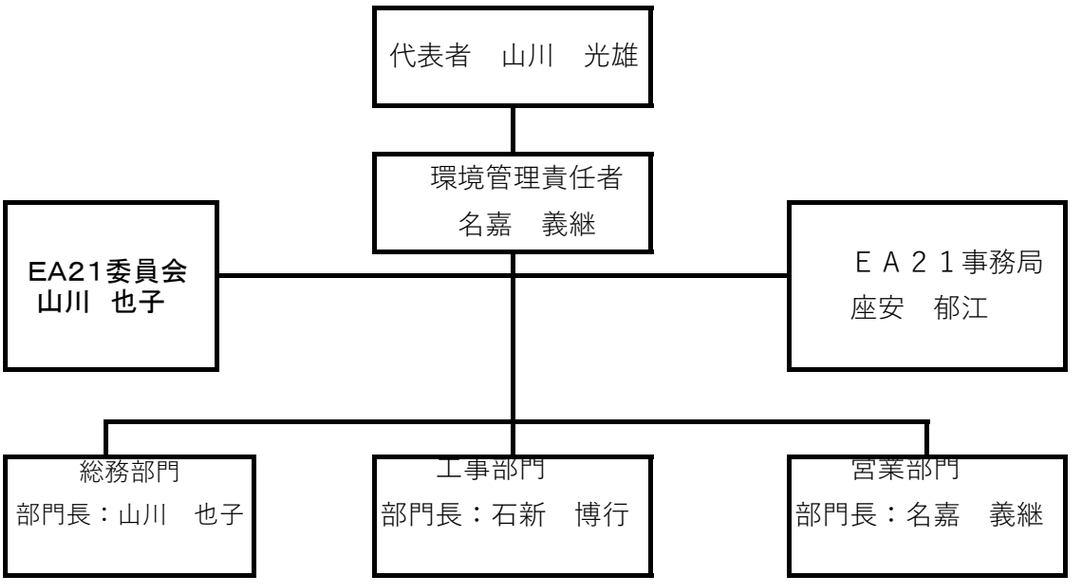
6.　許可

建設業許可：沖縄県知事　許可（特-3）第1290号　電気工事業

沖縄県知事　許可（般-3）第1290号　電気通信工事業

沖縄県知事　許可（般-3）第1290号　消防施設工事業

実施体制



役割分担表

所　属	役割・責任・権限
代表者	・代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ ・環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する ・環境管理責任者、EA21事務局員を任命する ・環境への取組を実施するための資源（人・もの・金）を準備する ・EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、 実行し、環境実績を向上させる。 ・毎年、環境経営目標、環境経営計画を作成する。 ・3か月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況を確認・評価する。 ・上記の結果を代表者に報告する。
EA21委員会	・3か月に1回開催し、環境経営目標及び環境経営計画の実施状況を審議する。
EA21事務局	・環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う ・社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門長	環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する 環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する 自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する 自部門に関連する法規制等を順守する 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する 自部門の教育・訓練を実施する
全従業員	環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

環境方針、環境目標及び環境活動計画を達成するために必要な取り組み

	内容	実施者
環境負荷を低減するための取り組み	事務所内の節電	名嘉　義継
	省エネ、省資源対応機器の導入による二酸化炭素排出量の削減	石新 博行
	コピー用紙等のリサイクル使用による一般廃棄物の削減	名嘉　義継
	洗車等に雨水を利用した水使用量の削減	名嘉　義継
	経年劣化、減価償却を超えた営業車、現場利用車を対象に電気自動車、ハイブリッド車、エコカー導入によるさらなる低燃費化	石新 博行
環境のために有益な取り組み	環境にやさしい事務所施工の実現	石新 博行
	環境に配慮した空間づくり（排気、換気や空気の導線の確保）	石新 博行
	事務用品のグリーン購入の推進	名嘉　義継
	敷地内、建物壁面や、屋上緑化の推進	石新 博行
	地域の環境関連活動への参加	山川 光雄
	省エネ・低資源型の建設機械の積極的利用	石新 博行
	環境にやさしい施工、作業の推進	石新 博行
	建設現場等の事前環境調査の実施及び対策による環境配慮型施工法の提案・実施	石新 博行

注）以上の項目に対する次期の課題の把握、検討を必ず行う

環境活動計画

①　二酸化炭素排出量の削減

⑴　電気使用量の削減

・空調の温度管理

・休憩時の消灯

・蛍光灯のLEDへの変更

・不使用設備、施設の節電

⑵　ガス使用量の削減

・ガス器具の清掃点検の実施

⑶　ガソリン及び軽油使用量の削減

・アイドリングストップ、エコドライブの推進

・営業車のハイブリッド車、電気自動車の導入

・現場使用車の整備、点検、タイヤの空気圧等のチェック

・現場での軽油利用発電機の使用を極力抑える

②　節水

・使用水量の把握

・雨水を利用した洗車や草木への水まき

・洗い物などの節水活動

③　産業廃棄物の排出量削減

・マニフェストを適正に管理

・分別廃棄の徹底

・資材の計画的購入、購入量の削減

・廃棄物のリサイクル化への協力

④　分別・リサイクル等による一般ごみの削減

・地域の条例に従った分別方法を遵守

・段ボール等古紙回収への協力

・リサイクルできる容器の商品から率先して購入

⑤　グリーン購入の推進

・環境に配慮した製品（エコマーク商品、グリーンマーク商品等）の購入、使用

・グリーン対象商品の把握に努める

以上の項目に対する次期の課題の把握、検討を行う。

環境実績

	令和４年度実績	令和５年度目標	**令和５年度実績**	
二酸化炭素排出量（kg-CO_2）	**50,042.34**	49,541.92	**48,193.74**	※1
電力使用量（kWh）	**20,228.00**	20,025.72	**19,814.00**	
液化石油ガス(LPG)使用量（kg）	**0.70**	0.69	**2.20**	
ガソリン使用量（ℓ）	**14,206.34**	14,064.28	**13,827.00**	
軽油使用量（ℓ）	**859.84**	851.24	**1,020.68**	※2
一般廃棄物排出量（kg）	**146.00**	144.54	**139.00**	
産業廃棄物排出量（kg）	**1,100.00**	1,089.00	**2,684.14**	
水使用量（㎥）	**148.00**	146.52	**135.00**	
グリーン購入（円）	**123,530**	124,765	**42,744**	※4

※1　購入電力の二酸化炭素排出係数は令和５年度沖縄電力基礎調整後排出係数0.710kg-CO_2/kWhを使用

※2　軽油は作業車をレンタルした際に利用しています

※　化学物質は使用しておりません

令和4年度実績を踏まえ「前年度より1%減」という無理のない計画を立て令和5年度の目標値とした。

環境目標

環境目標は令和5年度実績を基準年度とし、その数値から毎年１％を削減するとして中期目標を設定した。ただしグリーン購入は毎年1％増の購入金額とした。

	令和5年度 基準値（実績）	令和6年度 目標値	令和7年度 目標値	令和8年度 目標値	
二酸化炭素排出量（kg-CO_2）	**48,193.74**	47,711.80	47,229.87	46,747.93	※1
電力使用量（kWh）	**19,814.00**	19,615.86	19,417.72	19,219.58	
液化石油ガス(LPG)使用量（kg）	**2.20**	2.18	2.16	2.13	
ガソリン使用量（ℓ）	**13,827.00**	13,688.73	13,550.46	13,412.19	
軽油使用量（ℓ）	**1,020.68**	1,010.47	1,000.27	990.06	※2
一般廃棄物排出量（kg）	**139.00**	137.61	136.22	134.83	
産業廃棄物排出量（kg）	**2,684.14**	2,657.30	2,630.46	2,603.62	
水使用量（㎥）	**135.00**	133.65	132.30	130.95	
グリーン購入（円）	**42,744**	43,171	43,599	44,026	

※1　購入電力の二酸化炭素排出係数は2022年度沖縄電力調整後排出係数0.680kg-CO2/kWhを使用

※2　軽油は作業車をレンタルした際に利用しています

※　化学物質は使用しておりません

電力使用量に関しては全社員一丸となり節電の徹底に努め、改善していく。

今後ともにエコドライブを続け、定期的にオイル交換や、タイヤの空気圧チェックし、燃費の維持を目指す。

全体的に1パーセントの削減目標ではありますが、目標以上に達成できるように一丸となって行っていきたい。

環境教育・訓練の実施

日時	項目	場所	内容	参加者
令和５年7月5日	エコアクション21	事務所	エコアクション21の概要説明	全員
令和５年10月5日	エコアクション21	事務所	ガイドライン読み合わせ	全員
令和５年10月5日	エコアクション21	事務所	建設業マニュアル読み合わせ 環境負荷チェック（内容確認） 取り組みチェック（内容確認）	全員
令和6年4月5日	エコアクション21	事務所	取り組み状況の確認	全員

※各日約１時間～１時間半の時間で実施

環境上の緊急事態の想定と対応策、試行及び訓練

想定緊急事態の概要	実施日：令和５年　９月　２５　日
	実施場所：株式会社　山川電気　豊見城支社（豊見城市字長堂350番地の1）
	訓練内容（原因・被害状況） ・自然火災発生 ・ゴミ置き場付近より炎確認

訓練参加者

・山川光雄　・石新博行　・大城義徳　・神谷光貴　・仲本祥人　・名嘉義継

・山川也子　・座安郁江

対応策と訓練結果

初期対応

・出火元の確認

・怪我人の有無の確認

・避難経路の確保

応急処置を含む作業状況

・消防、警察、救急に通報

・炎が小さい場合、消火器、バケツリレー等で初期消火に努める

・炎が大きい場合、無理に消火にあたらず人命優先、安全のために避難する

・近隣住民にも避難を呼びかける

情報伝達事項

・出火場所、関係機関への連絡の有無を伝える

・関係機関へは出火状況、負傷者の有無をできるだけ詳しく伝える

・負傷者がいた場合は救急隊へ負傷者の状況を詳しく伝える

予防措置の状況

・消火器、消火器材の場所の把握

・避難経路の確保（ドア付近に遮蔽物を置かない等）

・全面禁煙、または喫煙場所の徹底管理

対応策と訓練結果そして確認・反省事項等

　今回は自然火災という設定で訓練を行った。慣れている場所での訓練ということもあり連携等はスムーズに行われたが、これが現場などであった場合は消火器材設置場所の把握や関係各所への連絡等に戸惑うだろうという意見が多く上がった。確実な消火と人命救助のためには躊躇せずに連絡するということを確認した。

環境関連法規等の遵守状況のチェック結果

【環境関連法規】	順守状況
廃棄物処理法 委託基準、保管基準、産業廃棄物管理票（マニフェスト）管理、前年度マニフェスト交付等状況報告	マニフェスト交付等状況報告を失念していたので、令和６年度分報告をしっかりおこなう
騒音規制法・振動規制法 特定建設工事の届出、規制基準遵守	遵守できている
フロン排出抑制法 第１種特定製品の簡易点検	遵守できている
悪臭防止法 悪臭発生の防止・抑制	遵守できている
オフロード法 適合車の使用	遵守できている

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

弊社の事業に係る、環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、過去三年間における違反はありませんでした。また、関係機関からの指摘等、利害関係者からの訴訟や苦情もありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し

株式会社　山川電気

代表取締役　山川光雄

令和　6 年　9 月　30 日

エコアクション２１を取組くんで2年目を迎えることになりました。

開始初年度と比較すると、社員の環境経営活動の意識も高まっています。

例年目標達成に向けて社員一同取り組んでいます。

今年度は軽油使用料、産業廃棄物が目標値よりオーバーしてしまいました。

工事量・工事種類により削減は難しい部分もありますが、今後とも目標達成のために削減につとめたい。

今後は全ての項目にむけて目標値をクリアできるように社員一同取り組んでいきたいと思っています。

今年度からの取り組みにより目に見える成果を出すことで次年度につなげていきたいと思っています。

那覇本社での取り組みについても豊見城支社と変わらないレベルで取り組めるよう、できるだけ早く体制を整えて2026年度までに開始することを目標とします。

以上を毎年度検討し、改めて計画、より良い改善に取り組んでいく。環境方針、環境目標、環境活動計画については変更ありません。

: